



Hyper
Active !

港区立港南中学校
第3学年 学年通信 No.32
平成29年11月27日(月)

自ら拓く

自らの進むべき路を、自らの手で切り開く時期です。
家庭で真剣に話し合い、必死に勉強している姿はみんなが応援します。
今後、受験校&受験者への配慮等、日頃の言動においてあなたたちの真価が問われます。

第3学年72人の進路先が決まるまで、みんなの受験は完了しません。最後のひとりが決まるまでみんなで取り組んでいきましょう。

自学自習

学年委員会の提案で、学年ホールが学習スペースにリニューアルされました。
ルールを守り、安心して勉強できる環境を有効活用しましょう。



準備万端

*身だしなみ

11月28日、受験写真&卒業アルバム写真を撮影します。清潔感が一番です。頭髪・服装等、身だしなみを整えましょう。

*出願書類(願書・調査書・推薦書等)

都立に関する書類は配布します。

私立・国立等、各自で準備し早めに担任に提出しましょう。



*入試相談：12月15日～

私立受験者の中で対象生徒は教育相談の中で確認しましょう。尚、推薦委員会による面接は11月30日で締め切ります。

*高校説明会

まだ間に合います。受験校は必ず説明会に参加し情報収集しましょう。

国税庁では、全国納税貯蓄組合連合会との共催により、全国の中学生の皆さんから「税についての作文」を募集しています。これは、将来を担う中学生の皆さんが、税に関することをテーマとして作文を書くことを通じて、税について関心を持っていただき、また、税について正しい理解を深めていただくことを目的としているものです。今回は、芝税務署長賞には3年B組〇〇さん、港区長賞には3年B組〇〇さん、芝酒類連合会会長賞には3年B組〇〇さんが選出されました。

自分から学ぶこと

港区立港南中学校

3年B組

私が税について考えるようになったのは、SNSサイトがきっかけだった。ある日、私がスマートフォンをいじっていると、ふいにある記事が目に入った。その記事はイギリスの救急センターが公開したもので、文と共に反省文のようなものの写真が掲載されていた。本文を読むと、それはある男の子が書いたことが分かった。彼はどうやら、ちょっとした好奇心で救急車にいたずらの出動要請をしてしまったらしい。写真の反省文には、深い反省の気持ちと共に男の子が書いた「不用意にいたずらをしてはいけない理由」が載っていた。それは次の三つの理由だった。

①出動のお金が無駄になるから

②とても怒られることだから

③本当に助けを必要としている人の妨げになってしまうから

文面は子供らしかったが、少年の真意が伝わって来る内容だった。①番の理由も、救急車の要請にお金のかかる外国の特色だな、と感じた。

そして私はもう一つ感じたことがあった。

それは、この記事は全く他人事ではないな、ということだった。このようにいたずらの要請は、日本でもたくさん起きているからだ。

2014年を参考にしてみると、年間の通報者数は約六百万件にも達しているのに、本当に重病だった人は全体の10パーセントしかいなかった。また、川崎市消防局の2014年の119番通報では、約10万件の通報のうち、2800件はいたずらだった。

日本は外国と違い、救急車を要請するのにお金がかからない。そのことが、いたずらをする人達の罪の意識を軽くしてしまっているのだと思う。勿論日本だってただではない。私達国民が、少しずつ出した税金でまかなわれているのに、彼らはそのお金を必要ない悪意あることに使用しているのだ。税金はそんなことには使ってはいけない。私は、もっと国を豊かにするために使うべきだと思う。

では、どうしたらいたずらを減らせるのだろうか。私はまず、税金の使い道を皆が学ぶことが大切だと思う。税金がどれだけの人を助け、人々の役に立っているのかを知れば、なぜいたずらはいけないのかが分かるし、どれだけ悪いことなのかを実感することができる。また、税金の使い道を皆が知ることによって、救急車のいたずらだけでなく、壁の落書きや110番のいたずら通報など、他の様々な問題を減らすことができるのではないだろうか。

これらの税金のことは、他人から教えてもらうのを待っていては解らない。自分から進んで学ぶことに意味があるのだ。日本にいるたくさんの人に、税金について一度深く考えてみて欲しい。自分で得た新しい知識のその先に、きっと豊かな日本の未来が広がっているはずだ。